様式２　管理運営状況評価書
【対象年度：平成24年度】　（　　②福祉施設　　）

１　施設概要・利用情報　　（単位：人、％、円、日）

番号	12	施設名	掛川市老人福祉センター山王荘	担当課名	高齢者支援課

区分		内容　・　説明	
１　施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市老人福祉センター条例	
	(2)施設設置目的	無料または低額な料金で高齢者に関する各種相談に応じるとともに高齢者に対して健康増進、教養の向上及びレクレーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする。	
	(3)施設が有する設備、機能の概要	鉄筋コンクリート造平屋建　延床面積808.4㎡ 研修室、集会室、休養室、談話室、娯楽室、健康相談室、事務室、駐車場	
	(4)施設建設年度	昭和53年	
	(5)耐震性能の有無	あり	
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	ボイラー撤去工事	
		外装塗装工事	
	(7)指定管理者名	社会福祉法人掛川市社会福祉協議会	
	(8)指定期間	平成２３年　４月　１日　から　平成２８年　３月３１日　まで	
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営	
	(10)自主事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況を３－(3)欄に記入のこと。	
	(11)指定事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況を３－(3)欄に記入のこと。	
	(12)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(13)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　平成　　年度）	

区分				H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数			12,702	13,315	13,866		
	（施設・設備ごと）	老人福祉センター山王荘		12,702	13,315	13,866		
	(2)稼働率（利用率）							↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

2 利用状況	（施設・設備ごと）		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		596	622	658		
	(3)運営日数		241	245	245		
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.0	1.0	1.0		

2 施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	4,280,012	5,143,241	6,545,738	7,170,000	
	②印刷費	121,385	104,847	117,071	144,000	
	③通信費	151,372	152,634	162,677	198,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	449,361	406,232	202,599	302,000	
	⑤借上料	2,219,616	2,013,261	1,998,864	2,255,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	76,150	67,170	54,620	77,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	271,772	396,634	39,085	158,000	
	計	7,569,668	8,284,019	9,120,654	10,304,000	
	対前年度増減率		9.4	10.1	13.0	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	531,511	705,627	730,483	664,000	
	電気保安管理業務	149,940	149,940	149,940	150,000	
	消防設備保守業務	55,377	55,377	55,377	55,000	
	空調機器保守点検業務	42,000	220,500	189,000	178,000	
	剪定・除草・病害虫駆除業務	114,094	109,710	104,641	110,000	
	トイレ清掃業務	117,600	117,600	117,600	118,000	
	ヘルストロン保守点検業務	52,500	52,500	52,500	53,000	
	非常口誘導灯交換料等	0	0	61,425	0	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	836,019	767,451	410,707	280,000	
	③光熱水費	1,041,137	928,969	937,946	1,367,000	
	④燃料費	0	0	23,782	24,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	0	0	271,336	83,000	
	計	2,408,667	2,402,047	2,374,254	2,418,000	
	対前年度増減率		△ 0.3	△ 1.2	1.8	

(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）	9,978,335	10,686,066	11,494,908	12,722,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	75.9	77.5	79.3	81.0	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する	6,330	9,210	4,320		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.1	0.1	0.0		

３　収支差額の状況　　注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	6,330	9,210	4,320	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	9,978,335	10,686,066	11,494,908	
収支差額　a）－b）	△ 9,972,005	△ 10,676,856	△ 11,490,588	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（　a－トータルコスト）	0	0	0	
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）	0	0	0	

(3指定事業及び)自主事業の状況　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額　a）－b）	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	0	
d) 自主事業の支出	0	0	0	
収支差額　c）－d）	0	0	0	

４　施設管理所管課（市担当者）としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案（いつから、誰が、何を、どうする）
⑴　施設の収支差額の改善について 【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。	年間1，000人を超える利用者があるが。そのほとんどが条例により使用料を減免しているため利用料としての収入は見込めない。現在、使用料を取っているのは、補聴器や眼鏡の調整をする業者からのみ。	65歳（市長が特に認めるものにあっては60歳）以上の者及び身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害福祉手帳を所持する者は、無料となっているが、施設の利用に際しては一部利用料金を負担できるように検討が必要。
⑵　利用者数の増加について 【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？	利用者アンケートによると利用者の約8割が70代～８０代となっており、施設のプログラムに対しては、約50％の人が満足している。	約50％の人がプログラム及び施設に満足している一方で約30％が普通と回答しているため人気のあるプログラムは維持しつつ、新しいプログラムも導入し満足度を上げ、リピーターを増やす事が必要。また、60代の若年層の囲い込みを行い利用者自体を増加させるためにニーズにあったプログラムの調査を検討することが必要。
⑶　利用者の満足度向上について 【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。	施設全体の満足度としては65％であるが、スタッフの対応については75％の方に満足していただいている。施設が古くバリアフリーになっていない点や和室をフロア化して欲しいなどの要望がある。	スローエアロビ教室や囲碁・将棋などゲームを楽しんだり、パッチワークなどの趣味のプログラムが充実しており、体を動かしたり、知的ゲームを楽しみ交流することで介護予防の目的に見合う事業がなされている。施設については、清掃が行き届いているとの声が多いため、引き続き清潔に保っていき、老朽化が満足度の低下にならないようにしていく。

５　その他自由意見